

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：男女共同参画推進費

事業名【新】男女が共にすすめる職場改革プロジェクト事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課 男女共同参画係

男女共同参画・女性の活躍支援センター

電話番号：058-214-6431

E-mail：c11234@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,238 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,238	0	0	0	0	0	0	0	1,238
決定額	1,238	0	0	0	0	0	0	0	1,238

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・本県の女性の管理的職業従業者に占める割合は、13%と全国的にも低位である。
- ・女性の働き方では、35歳以上の世代で非正規雇用の割合が高くなっており、「L字カーブ」の落ち込みが全国より著しくなっている。
- ・企業側は、「女性がいずれ結婚や出産を機に離職する」と思い込んでいたり、女性が「この会社では女性は営業や企画はできない」と考えているなど、職場内でのアンコンシャス・バイアス（無意識の偏ったモノの見方）があることに気づかないことによる人への評価・対応が継続就業しにくい理由の一つになっている。

(2) 事業内容

県内企業における男女共同参画を推進するため、企業内でのアンコンシャス・バイアスの認知と理解促進のための講座の開催

●男女が共にすすめる職場改革プロジェクト事業費【1,115千円】

アンコンシャス・バイアスへの理解するための講座・トークセッションの開催

- ・企業内に存在しているアンコンシャス・バイアスへの理解するための講座及び企業内でのアンコンシャス・バイアスの実例に関するトークセッションの開催

●事務費【123千円】

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル評価委員報償費
旅費	71	プロポーザル評価委員費用弁償、業務活動旅費
消耗品費	10	資料作成費、コピー代
役務費	10	郵送料、電話料
委託料	1,115	事業費
合計	1,238	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり
 - (3) 誰もがともに活躍できる共創社会
 - ①性差に関わらず活躍できる社会の確立
- ・清流の国ぎふ女性の活躍推進計画

(2) 国・他県の状況

- ・国：「女性活躍・男女共同参画の重点方針2023」に、中小企業を含む企業経営者等のアンコンシャス・バイアスの解消・行動変容を促す必要性について記載

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

県内におけるアンコンシャスバイアスの解消は、誰もが活躍できる社会の確立に当たり不可欠であり、県が率先して実施すべきものとして、県負担は妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「男女共同参画に関する県民意識調査」による、社会全体として「男女の地位が平等」と感じる人の割合を引き上げる。

また、「男女がもっと平等になるためには偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりの改善が必要である」と感じている人の割合を引き下げる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標	達成率
①「男女共同参画社会」の認知度	72.4%				100.0%	—
②社会全体として男女の地位が「平等である」と感じる人の割合	14.3%				50.0%	—

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	
令和 4 年度	
指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
講座の参加者数等から、ニーズを把握し、事業の継続を判断する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など